

ファンド概況

基準価額	8,520円	純資産総額	513百万円
設定日	2008年4月24日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

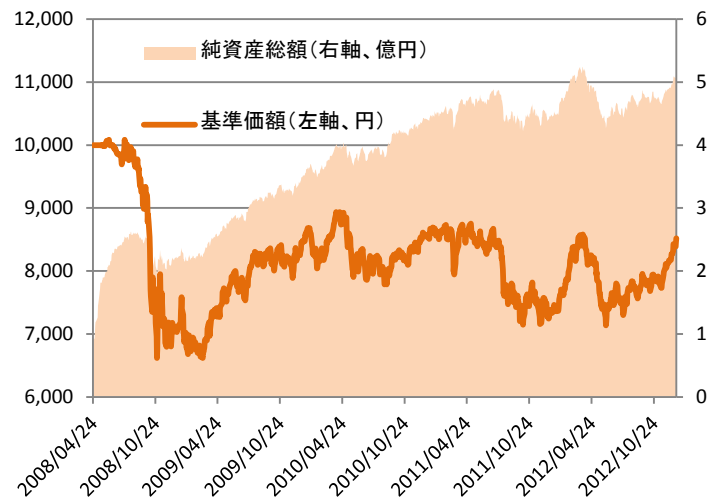
1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
5.32	9.22	12.86	16.17	0.45	-14.80

分配金(円)

直近3期を表示

2期 ('10/2/25)	3期 ('11/2/25)	4期 ('12/2/27)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

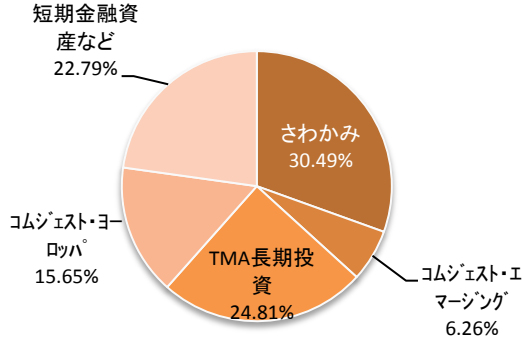
12月の日本の株式市場は、自民党・安倍政権の誕生とそれに伴う日銀のインフレ目標採用の検討と量的緩和への期待から日経平均株価は1ヶ月間で10%強上昇しました。為替市場でもドル、ユーロ共に対円で約5%以上の円安傾向となった事で、世界の株式市場の代表的な指標であるMSCIワールド指数は、円換算で7%強上昇しました。一方、先進国の中央銀行が大幅にペーパーマネーを印刷している事を敏感に察知しているのが債券市場で、米国金利が少し上がり始めました。米国の代表的な長期金利である10年国債の利回りは、昨年12月初旬の1.5%台から年明けの1月4日には1.97%まで上昇しました。これは、元本保証のある国債が売られて、リスクのある株式や実物資産に資金が移動したという意味にも捉えられます。

さて、2013年はどのような年になるのか？誰も正確に未来を予測できませんが、地震のようにある程度、最悪を予想して準備することが、長期投資でも大切だと思います。冒頭でも触れましたが、ズバリ、私は「債券より株式や実物資産」に投資するべきだと考えています。(詳しくは、東京、大阪のセミナーでご説明していますので、ご参加ください。)

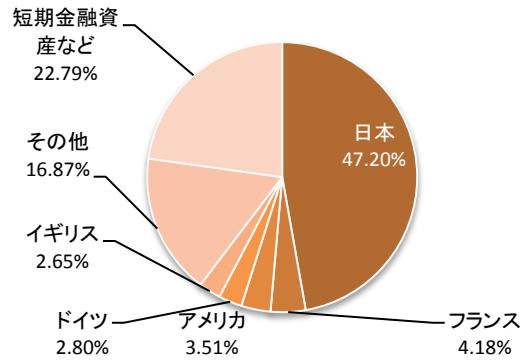
12月のらくちんファンドの運用結果に関しましては、円安で恩恵を受ける輸出関連企業の組入れが高い「さわかみファンド」や円安効果による外国株式への組入れが功を奏して+5.32%の上昇となりました。ファンドの組入れ状況は、底値圏にある日本株式に投資する「さわかみファンド」と「TMA長期投資ファンド」の組入れ比率を5～10%上げました。一方、株価が高値圏にある外国株式に投資するファンドは若干売却しました。今後の運用に関しましては、2月末まで延期された米国の「財政の崖問題」で高所得者層への増税規模や中間層の増税による消費への影響等、世界経済の動向を見極めて、慎重に判断したいと考えています。

ポートフォリオの状況

資産構成比率



国別投資比率



らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 266銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.49%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.16%	さわかみ
3	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.14%	TMA長期投資
4	INDITEX	スペインのアパレルメーカー『ZARA』など	1.06%	コムジエスト・ヨーロッパ
5	SAP AG	世界第3位のアプリケーション・ソフトウェア会社	1.05%	コムジエスト・ヨーロッパ
6	三菱重工業	船舶、航空など総合機器メーカー	0.93%	さわかみ
7	セブン銀行	セブン&アイHD傘下。コンビニATM事業最大手	0.92%	TMA長期投資
8	NOVOZYMES A/S-B SHARES	産業用酵素製品を供給(デンマーク)	0.87%	TMA長期投資
9	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	0.84%	TMA長期投資
10	ファナック	工作機械装置で世界首位	0.84%	TMA長期投資
11	DASSAULT SYSTEMES SA	フランス最大のソフトウェア会社	0.83%	コムジエスト・ヨーロッパ
12	L'OREAL	フランスの世界最大の化粧品会社	0.83%	コムジエスト・ヨーロッパ
13	キヤノン	映像・事務機器、ステッパーなどを製造	0.82%	TMA長期投資
14	LINDE AG	ドイツの化学工業メーカー	0.81%	コムジエスト・ヨーロッパ
15	ESSILOR INTERNATIONAL	フランスの光学製品メーカー。日本ではニコンと合併	0.80%	コムジエスト・ヨーロッパ
16	本田技研工業	二輪・四輪・汎用機を製造する世界的メーカー	0.79%	TMA長期投資
17	エア・ウォーター	総合ガス企業	0.77%	TMA長期投資
18	デンソー	トヨタグループに属する自動車部品メーカー	0.77%	TMA長期投資
19	花王	洗剤、トイレット、化粧品など製造	0.73%	さわかみ
20	SMC	空圧機器などを製造・販売(日本)	0.72%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え(現預金と組入れファンドの投資比率の変更)を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

＜お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください＞

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	お申込日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.945%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

【「平成24年分特定口座年間取引報告書」の発送について】

「平成24年分特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設したお客様へ販売会社が作成・交付するものです。年間一度もご換金(解約)をされなかったお客様についても、作成・交付されます。順次発送しておりますので、お手元に届きましたら内容をご確認ください。

本報告書は、確定申告される場合に必要な書類となりますので、大切に保管してください。

【「取引残高報告書」の発送について】

「取引残高報告書」はお預かり残高とお取引の明細を四半期毎に作成・交付するものです。今回(2012年10月～12月期)は、期間中にお取引(売買等)があったお客様、および取引がなくても残高をお持ちで、最後の取引から1年が経過しているお客様に交付しております。対象となるお客様のうち、残高がある方は、12月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

【特定口座のみなし廃止について】

特定口座は、一定の期間ご利用がない場合、法令により廃止(以下、「みなし廃止」といいます。)されることとなっております。今回みなし廃止の対象となるお客様には、その旨の書面をお送りしておりますのでご確認ください。

また再度、特定口座の利用をご希望されるお客様は、書面のお手続きが必要となりますので、お電話またはE-mailにて、「特定口座開設届出書」をご請求下さい。

ご不明な点等ございましたら、弊社業務管理部までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

【毎月つみたてサービスをご利用のお客様へ】

新規申込・引落口座の変更および購入金額の変更をご希望の場合には、それぞれ締切日がございます。

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成25年2月	受付終了	1月23日(水)	2月5日(火)	2月18日(月)
平成24年3月	2月1日(金)	2月20日(水)	3月5日(火)	3月15日(金)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

業務管理部 東京03-3222-1220／大阪06-4790-6200 平日9時～17時

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

今後のセミナーのご案内

1月18日(金) 19:00~21:00	長期投資で未来を語ろう 当社代表 宮内鋭	【会場】 当社 会議室 東京都千代田区三番町5-37 三番町葵ビル 【費用】 無料 【定員】 10名
2月8日(金) 19:00~21:00	第63回 なにわで咲かそう!長期投資の輪!! レオス・キャピタルワークス 藤野英人氏 当社代表 宮内鋭	【会場】 大阪市中央公会堂 第8会議室 大阪市北区中之島1-1-27 『淀屋橋』駅 徒歩4分 【費用】 無料 【定員】 18名
2月15日(金) 19:00~21:00	長期投資で未来を語ろう 当社代表 宮内鋭	【会場】 当社 会議室 東京都千代田区三番町5-37 三番町葵ビル 【費用】 無料 【定員】 10名

当社が運用する各ファンドの運用方針や、みなさまがお持ちの素朴な疑問など、お気軽にご質問ください。お待ちしております。

【お申込み・お問合せ】TEL 03-3222-1220 または gyoumu@clover-am.co.jp

クローバー「はんぶん」コラム

◆年末に第2次安倍内閣がスタートしました。ニュースを見る限りでは、特に経済面・外交面で矢継ぎ早に政策を実行しようとする姿勢が感じられます。これらの政策が良い結果につながればと願ってやみませんが、ひとつ心残りは今回の総選挙の投票率が低かった(59.32%)こと。自分の思い描く「国のかたち」に少しでも近い政策を提案している党に一票を投じることは、重く、尊い責任があると思います。世界には独裁国家があり、選挙がしたくてもできない国があります。投票ができる喜びを感じ、今夏の参院選の投票率が大幅にアップすることを期待したいです。◆今回、「再チャレンジ」で総理大臣に就いた安倍さん。前回は2007年9月25日に内閣を総辞職しました。「あのやつれた表情での記者会見から5年か」と思いましたが、ちょうどその頃私たちはおふくろファンド、らくちんファンド、かいたくファンドの設定準備に追われていました。2007年の秋は米国のサブプライム問題が表面化し株価は下落し始めた頃です。年が明け2008年4月、3本のファンドはようやく設定され運用が始まりました。そして9月、リーマン・ショックが起きて世界経済に大打撃をもたらしたのです。3本のファンドも直撃を受けて基準価額は大幅に下落しました。お客さまにおかれましては相当な不安を抱えたかもしれませんが、私たちはセミナーなどで「いまは買う時。」と発信し続けました。その思い、考えに共感いただけたのか、解約はほとんどなく、スポットでの買い増しや毎月つみたての増額のご注文をたくさんいただきました。◆2012年の終盤、円安への期待をはじめとして株価は上昇し始め、3本のファンドの基準価額も持ち直してきました。下は、おふくろファンドを例に2008年5月の第1回から2012年12月までの計56回の毎月つみたてをされた場合の利回りを計算したものです。

56回の買付けを経た元本(取得単価)	2012年12月28日の基準価額	利回り
8,503円	9,253円	8.82%

※56回すべて同じ金額、スポット購入なし。

この8.82%という数字はあくまで結果であり、今後の成績を保証するものではありませんが、リーマン・ショックや歴史的円高などがありながらも、コツコツ続けてきた結果・事実です。私たちはさらなる上積みを目指していきます。

2013年1月11日(H)